

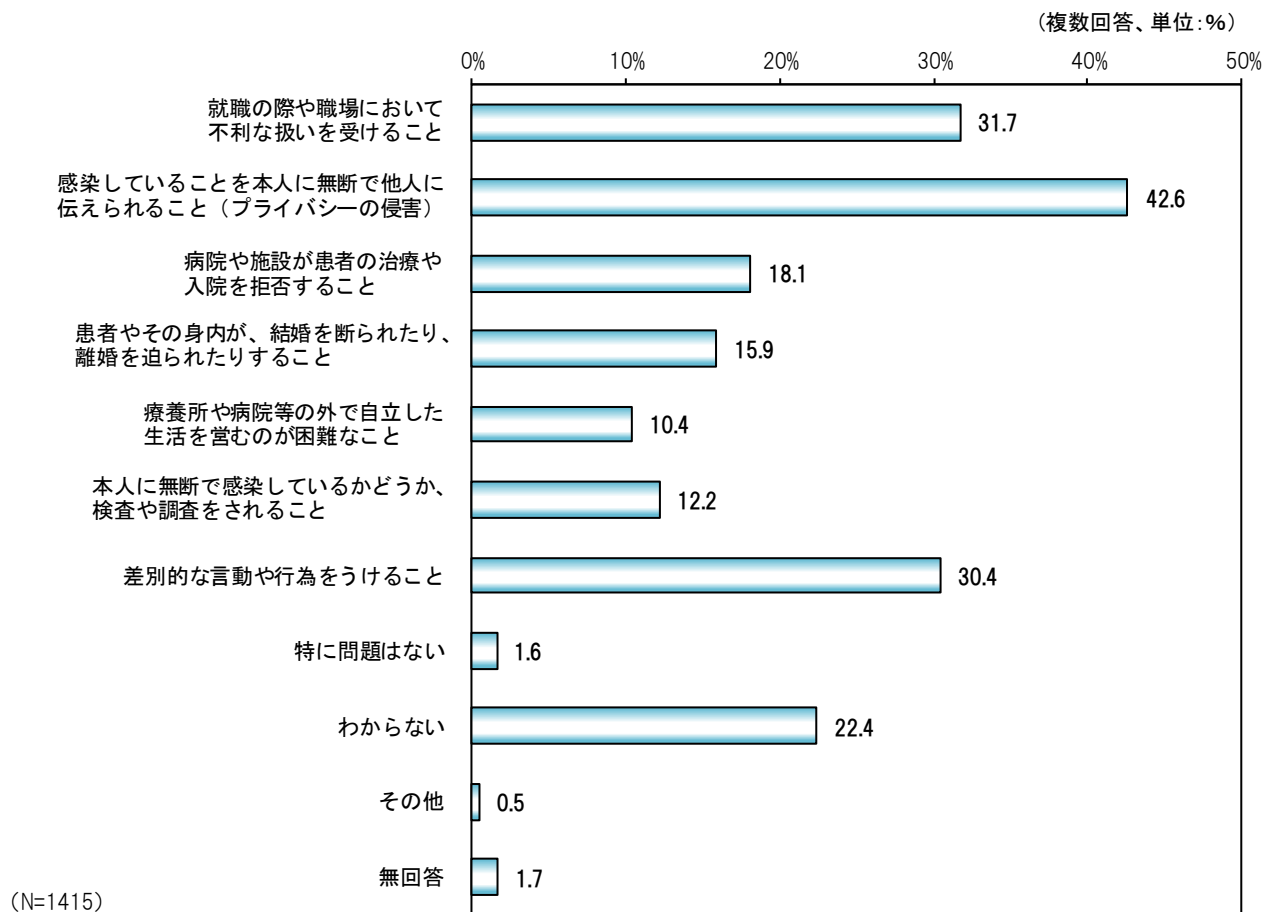
## 1 1. 感染症（H I V等）・難病患者等の人権について

### 問26 感染症（H I V等）・難病患者等に関する人権上の問題点

あなたは、感染症(HIV等)・難病患者等の方々に対して、人権の尊重という点からみて特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

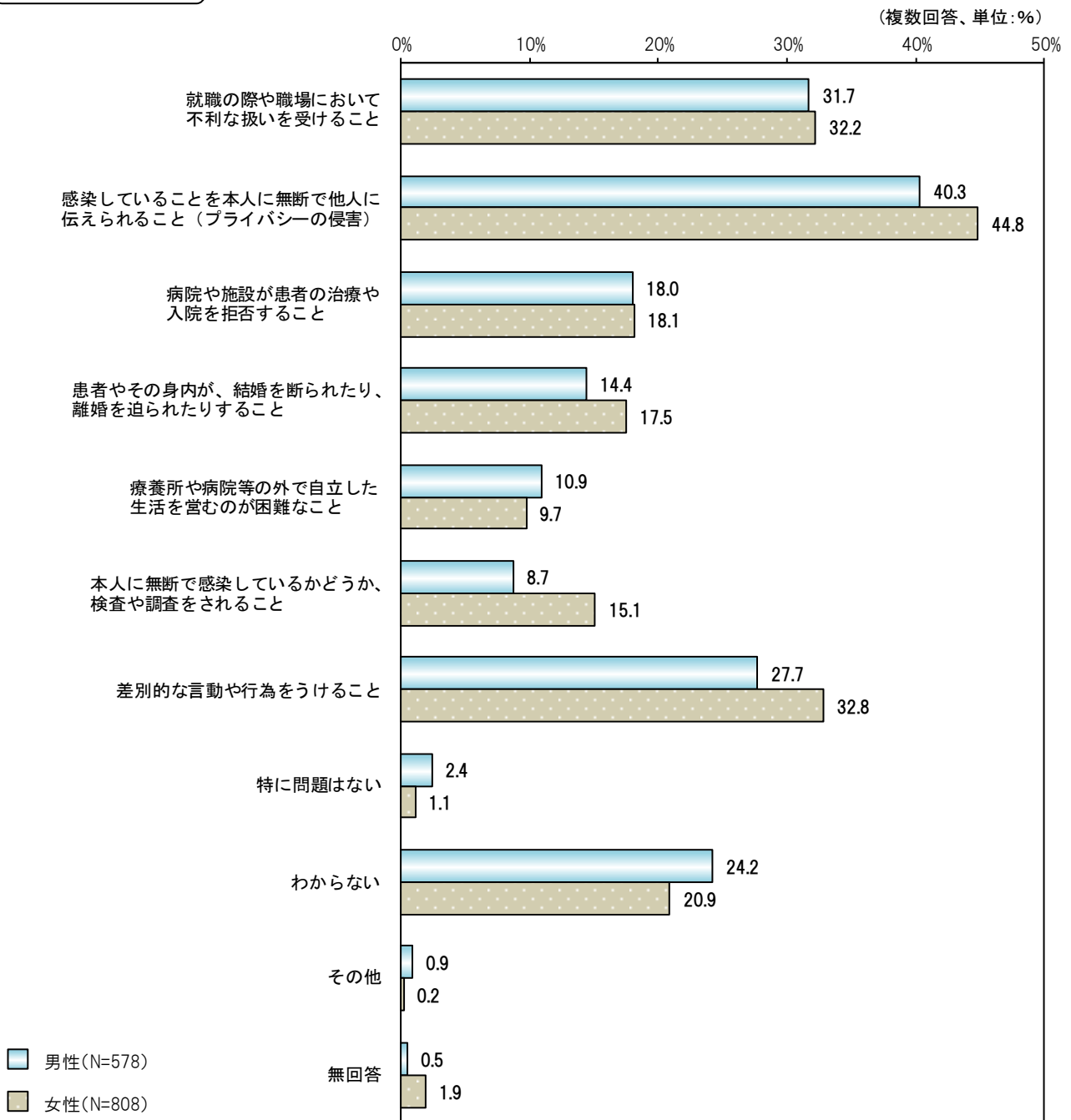
1. 就職の際や職場において不利な扱いを受けること
2. 感染していることを本人に無断で他人に伝えられること（プライバシーの侵害）
3. 病院や施設が患者の治療や入院を拒否すること
4. 患者やその身内が、結婚を断られたり、離婚を迫られたりすること
5. 療養所や病院等の外で自立した生活を営むのが困難なこと
6. 本人に無断で感染しているかどうか、検査や調査をされること
7. 差別的な言動や行為をうけること
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他（ ）

#### 全体集計



「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること（プライバシーの侵害）」の割合が42.6%と最も高く、次いで「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」が31.7%、「差別的な言動や行為をうけること」が30.4%となっている。

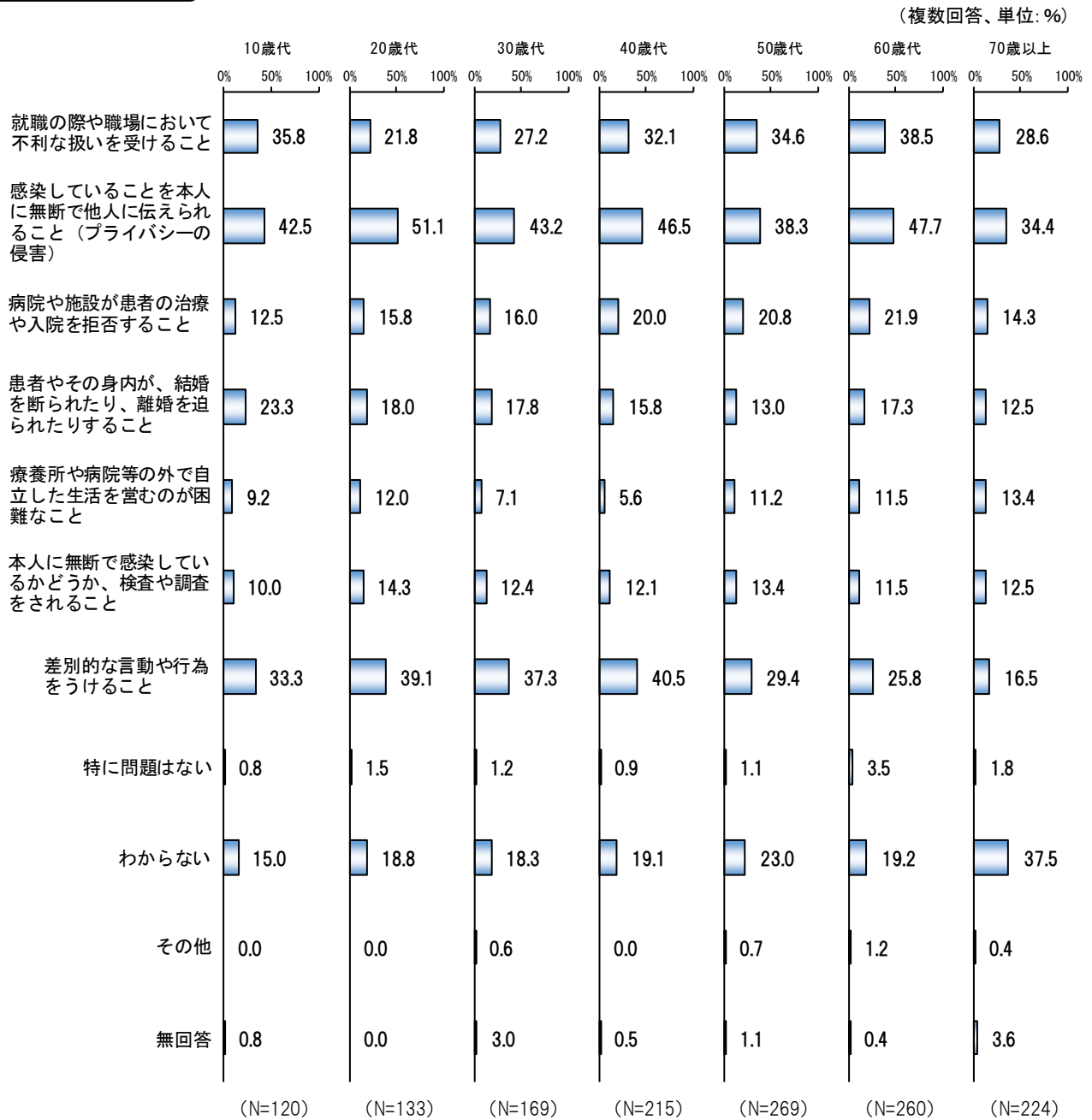
## 性別集計



性別でみると、男女ともに「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること(プライバシーの侵害)」の割合が最も高く、第2位は男性が「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」、女性が「差別的な言動や行為をうけること」、第3位は男性が「差別的な言動や行為をうけること」、女性が「就職の際や職場において不利な扱いを受けること」となっている。

「本人に無断で感染しているかどうか、検査や調査をされること」が最も男女差が大きく、男性(8.7%)よりも女性(15.1%)の方が6.4ポイント高くなっている。

## 年齢別集計



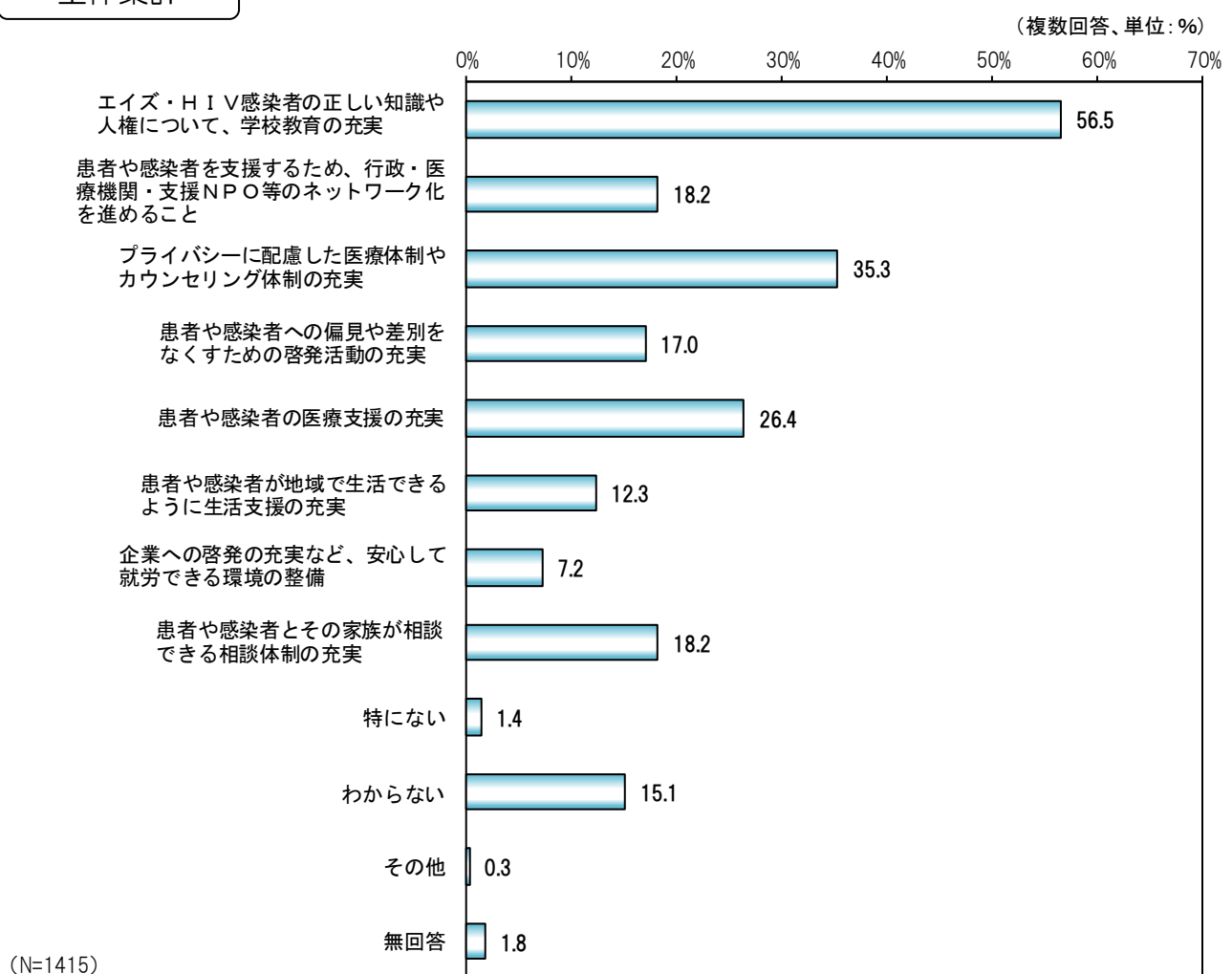
年齢別でみると、10～60歳代は「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること(プライバシーの侵害)」、70歳以上は「わからない」の割合が最も高くなっている。

## 問27 感染症（HIV等）・難病患者等の人権を守るために必要なこと

あなたは、感染症(HIV等)・難病患者等の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

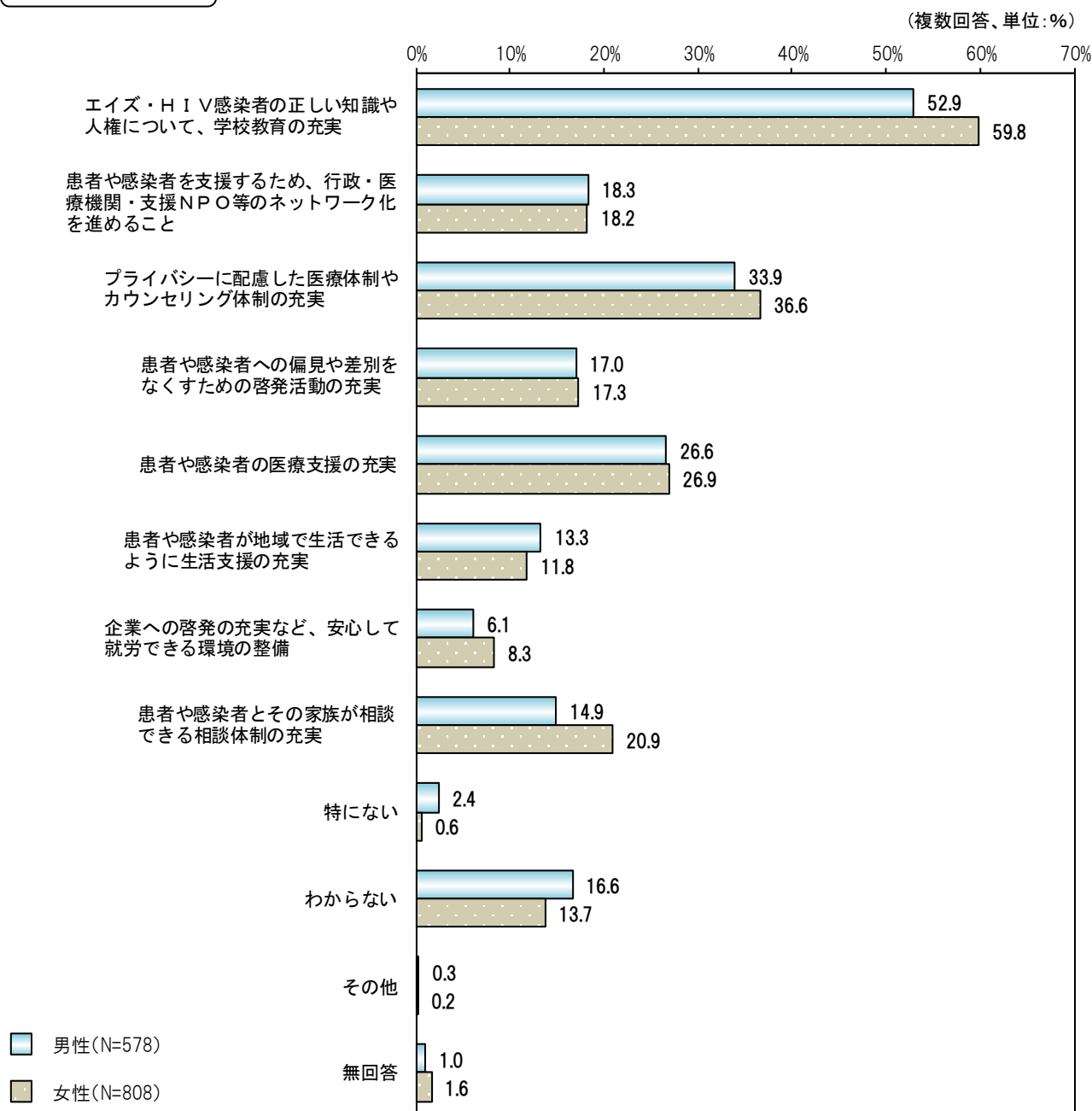
1. エイズ・HIV感染者の正しい知識や人権について、学校教育の充実
2. 患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・支援NPO等のネットワーク化を進めること
3. プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実
4. 患者や感染者への偏見や差別をなくすための啓発活動の充実
5. 患者や感染者の医療支援の充実
6. 患者や感染者が地域で生活できるように生活支援の充実
7. 企業への啓発の充実など、安心して就労できる環境の整備
8. 患者や感染者とその家族が相談できる相談体制の充実
9. 特にない
10. わからない
11. その他 ( )

### 全体集計



「エイズ・HIV感染者の正しい知識や人権について、学校教育の充実」の割合が56.5%と最も高く、次いで「プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実」が35.3%、「患者や感染者の医療支援の充実」が26.4%となっている。

## 性別集計

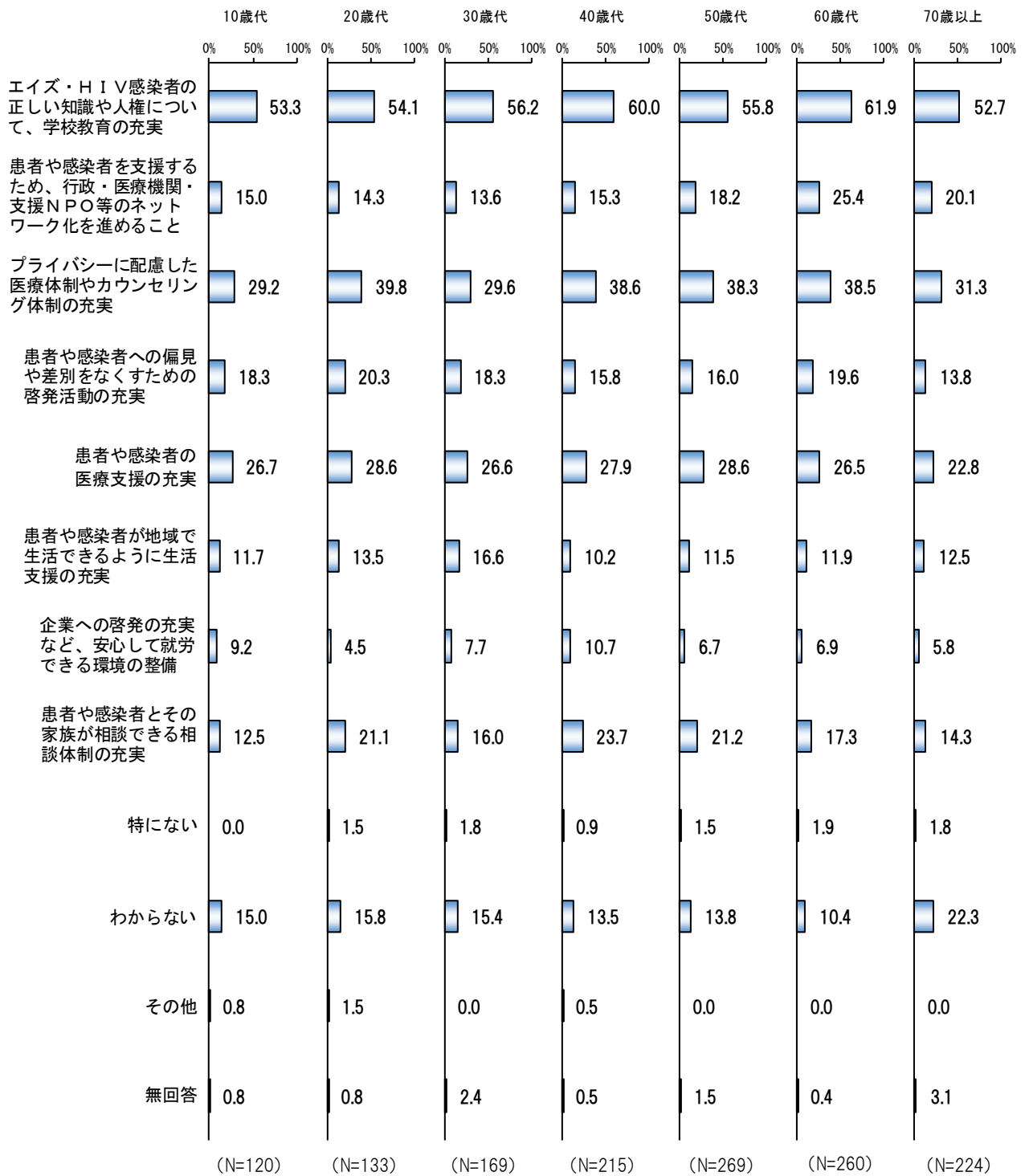


性別でみると、男女ともに「エイズ・H I V感染者の正しい知識や人権について、学校教育の充実」の割合が最も高く、次いで「プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実」、「患者や感染者の医療支援の充実」の順となっている。

「エイズ・H I V感染者の正しい知識や人権について、学校教育の充実」が最も男女差が大きく、男性 (52.9%) よりも女性 (59.8%) の方が 6.9 ポイント高くなっている。

# 年齢別集計

(複数回答、単位：%)



年齢別でみると、すべての年齢層で「エイズ・HIV感染者の正しい知識や人権について、学校教育の充実」の割合が最も高くなっている。